県新人卓球大会（男子団体・女子団体）優勝おめでとう！

陽北アベックV

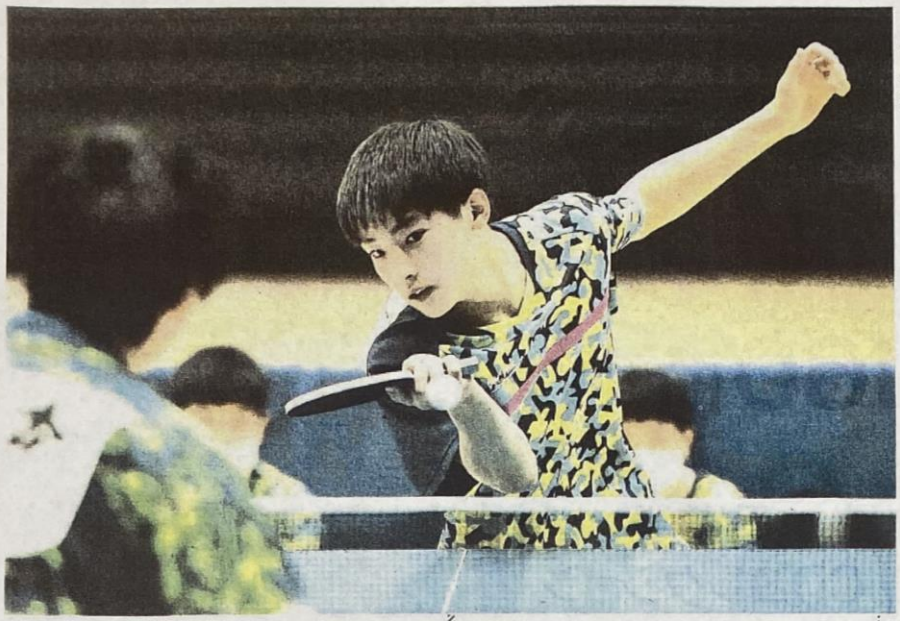
卓球 団体

県中学新人スポーツ

12日、宇都宮市の日環アリーナ栃木ほかで卓球、サッカー、野球などを行った。

県中学新人スポーツは卓球は男女の団体を行い陽北が共に初優勝を飾った。男子は初戦からストレート勝ちで勝ち上がり、決勝は序盤の劣勢をはね返して3―2で若松原を下した。尾上希実主将がけん引した女子は決勝で北押原を3―1で破った。

サッカーは決勝で氏家が西那須野に3―0で快勝し連覇を達成。野球決勝は作新学院が8―1で鹿沼東に勝利を収めた。ソフトボール決勝は阿久津・北高根沢・矢板の3校連合が延長九回タイブレークの末、6―5で親園を破り頂点に立った。



卓球男子団体決勝　陽北の菊地が粘り強くリターンする＝日環アリーナ栃木、小玉義敬撮影

卓球男子団体優勝の陽北

卓球女子団体優勝の陽北

◇卓球（日環アリーナ栃木）

【男子】▽団体準々決勝　若松原3―2姿川、上三川3―2益子、陽北3―0間々田、宮の原3―2中村▽準決勝　若松原3―0上三川、陽北3―0宮の原▽決勝

陽北 3―2 若松原
中村 0―3 木○
間々田 0―3 高屋○
○高石 3―0 森谷
郷木川 小島

【女子】▽団体準々決勝　陽北3―0絹義務教育校、栃木東3―2鬼怒、北押原3―1真岡東、市貝3―0南大飼▽準決勝　陽北3―1栃木東、北押原3―2市貝▽決勝

陽北 3―0 桜井
北押原 3―0 岩本
○鈴木 3―0 豊田
○菊地 3―0 石川
○尾上 3―1 鹿目
○杉本 0―3 藤○
○弓松 0―3 伊原
下下

○仲山 3―0 布施
及川 萩原
（男女の優勝校は来年3月に宮城県で開かれる全国大会に出場）

チーム力で格上破る

○…卓球団体は男子に続き女子も陽北が頂点。シングルスの優勝、準優勝者を擁する北押原をチーム力で上回っての初優勝に六本木雅弘監督は「これが団体戦の面白さ」とかみしめた。

決勝をけん引したのは主将の尾上希実。「1勝をみんなのために取ろうと戦った」と相手の強打にも打ち負けずに得点を積み重ね、格上を3―1で破った。

苦しんだ準決勝からチームで修正したのはメンタル面だ。反省を生かしたダブルスの弓下莉瑚は「得点できなくても下を向かず笑顔で声をかけ合った」。尾上は「もっと技術力を高めて上位を目指したい」と全国の舞台を見据えた。

ダブルス制し後半に勢い

男子 陽北

スポット

卓球男子団体の陽北が初優勝で来春の全国選抜大会初出場。同校の悲願だった男女での優勝、全国出場を決め菊地颯一郎は「安心した」と表情を緩めた。

決勝は第1、2シングルスを落としたが第1ダブルスの石川朝聖は冷静だった。序盤の劣勢も視野に入れながら「ここで勝って後半に勢いをつける」と役割を徹底し3ゲームを連取。逆転優勝の起点となった。

「団体はダブルスが重要。勢いをつけてくれた」と試合を決めた最終第4シングルスの菊地。仲間を信じて命運を託す選手とそれに応える選手。「学年に関係なく仲が良い」（中村幸太郎主将）という選手たちが、練習を通して築いた絆と信頼関係が引き寄せた栄冠だった。

7月の県総体も男女優勝だったが、関東大会で敗れ全国に一歩届かず。涙をのんだ3年生の思いを知る下級生も多いだけに中村主将は「今まで地区や県で良い成績でも全国にはいけていなかったのでうれしい」。同校の歴史に新たに刻まれた1ページの重みをかみしめ喜びを分かち合った。

（小玉義敬）

2022/11/13
下野新聞より